

2023年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
110032004	社会学	近本聰子		共通	2	選択	3後期

科目的概要

「社会」とは、人が日常を生きるこの「場」そのものである。この授業では、生活に身近なテーマを題材に、「あたりまえ」を疑うこと——学問として社会と向き合い、社会の構造を知る視点を身につけ、これから的人生で向き合っていく多様な社会集団についての視点を得る。社会を変える、あるいは創造する新しい可能性を模索することを主眼とする。社会の課題を知り、現在・そしてこれからの中の社会で生きていくために応用可能な力を身につける。この科目はDP1「建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力」を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができる。」を主軸にDP2及びDP3を統合するために設置されている。

学修内容	到達目標
<p>① 社会という「場」を構成する要因・仕組みを知る。 ② 社会学の基礎的な理論を学ぶ。 ③ 「あたりまえ」を疑うこと=「社会学的思考」を身につけ、社会・組織の問題や課題を批判的に捉える。 ④ 人間は一人では生きられない。必ず集団に属して生活する。社会集団とは何だろうか、観察する。</p>	<p>① 社会という場を構成する要因・仕組みに基づいて社会現象を把握することができるようになる。 ② 社会学の基礎的な理論をベースに考察できる。 ③ 社会学的思考を身につけ、自分で社会・組織の問題や課題を発見し解決の道筋を提案できるようになる。 ④ 社会集団について観察した結果を、実生活で関与する集団への居方に活かし、自分が改革を提案できるようになる。</p>

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	常識や固定観念にとらわれず、自分が生きる社会のあり様に興味をもつ。
	働きかけ力	社会というモノは存在しない。人間の集団と集団間のあらゆる関係性が社会である。理論を社会学のテキストよとおして勉強して、高度な概念や語彙を増やそう。
	実行力	次週の授業テーマについて、複数の文献やインターネットを用いて調べる。
考え方抜く力	課題発見力	授業テーマや学んだ理論を応用して、社会におけるさまざまな問題・課題を発見する。
	計画力	難しくても用語を真に理解すれば考える力をつけられる。
	創造力	社会のさまざまな問題や課題について、授業で学んだ理論を活かして課題に取り組む。
チームで働く力	発信力	授業中に投げかけられる質問やディスカッションで、疑問に思ったことや建設的な意見を発信する。
	傾聴力	一つの見方に固執せず、複数の意見を聞く。不明なところは教員や他の学生などの協力を仰ぎ解決する。
	柔軟性	社会学の見方で、たとえば「栄養士」「保育士」「教師」などが置かれる関係性について同じクラスの人々と共に話し合ってみよう。
	情報把握力	社会学の概念について、同じクラスの人々と共に話し合ってみよう。
	規律性	予習・復習と授業におけるルールを守る。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『社会を知るために』筒井淳也 ちくまプリマ―新書（必須です）

参考文献：友枝敏雄・竹沢尚一郎・正村俊之・坂本佳鶴著『社会学のエッセンス——世の中のしくみを見ぬく〔新版補訂版〕』有斐閣、1996→2017年、ピーター・L・バーガー『社会学への招待』ちくま学芸文庫など

他科目との関連、資格との関連

社会とはなにか、という概念は個人と人々を繋ぐ。個人や他者の「生活」「文化」を学ぶことにおいてベースとなる基礎教養科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
<p>授業では講義を中心におこなうが、各時代背景についての予習・復習を欠かさずおこなうこと。 授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もしっかりとメモやノートにとること。 疑問点は放置せず、教員に質問したり文献で自習したりして解決すること。 ファイルやプレゼン資料などのデータはGoogle classroomで提出すること。ICTを全面活用すること。</p>	<p>授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係のない電子機器類の使用を禁止する。また、学則で定められた遅刻3回で出席1回とみなす。 授業内で提示する予習・復習の課題にかならず取り組むこと。</p>

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント																				
	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	40	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>①</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>テーマ：「あなたにとって社会とはどのように見えるのか」を軸に、子ども時代から積み上げてきた社会についての価値観や規範を読み解き相対化する。 ・授業で学んだことに加えて、自ら調べたことや考察をまとめることができているかが評価される。 ・学術的な論述の基本（適切に引用情報を記載する、引用は「」で閉じる、である調で書く、など）に則っていない場合は【不合格】となる。</p>	①	✓			②	✓			③	✓			④	✓						
①	✓																							
②	✓																							
③	✓																							
④	✓																							
学修成果	小テスト	0	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>①</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	①				②				③				④								
①																								
②																								
③																								
④																								
レポート	50	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>①</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	①	✓			②	✓			③	✓			④								おおよそ、4回の授業ごとにこれまで学んだ社会学のテーマに関して、自分の関心に基づきアクティブラーニングできるよう、調べて文章にまとめるというレポート形式と社会学的な質的調査方法を提示する。その方法論でまとめたものを成果として出していただく。授業各回で学んだ内容を活かしながらさらに自分で調査研究して深めるということを実践していただく。	
①	✓																							
②	✓																							
③	✓																							
④																								
学修行動	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>①</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	①				②				③				④								
①																								
②																								
③																								
④																								
社会人基礎力（学修態度）	10	<table border="1" style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>①</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td>✓</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	①	✓			②	✓			③	✓			④								主体性 ・自分で文献や資料を探しアイデアを提案することができる。 実行力 ・授業テーマに関する情報を文献を用いてまとめようとしている。 調査力 ・授業のレクチャーから、社会の課題や時代の特徴を発見しようとしている。 発信力 ・投げかけられる問い合わせに対して積極的に発言している。 倾聴力 ・他者の意見を聞き、解釈している。 創造力 ・授業で学んだことを学期末試験などで発揮している。 規律性 ・授業のルールを守っている。	
①	✓																							
②	✓																							
③	✓																							
④																								
総合評価割合	100																							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S：アクティブラーニング（社会学の質的調査、社会背景調査）によるレポート2回、および学期末試験において、社会にある課題や時代の特徴を自ら発見し、授業で学んだ理論をもとに自身の見解を論理的に記述することができる。 A：レポートや試験において、社会にある課題や時代の特徴を発見し、授業で学んだ理論をもとに考察することができる。	B：レポートや試験において、授業で学んだ理論をもとに考察することができる。 ※各回で提示する予習課題にかならず取り組み、その成果にもとづいて考察できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション 社会学と「社会学的思考」について学ぶ	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：シラバスを読んでくる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	社会学を学ぶ意義 社会学が取り組む課題について学ぶ テキスト併用	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：社会学が対象とするテーマを調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
3	行為の分析 「相互主観性」やラベリング理論について学ぶ	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる テキストのサマリー提出	予習：「相互主観性」について調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
4	スティグマ／正常と異常 「正常」「異常」を構築することの問題を学ぶ	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：「スティグマ」について調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	社会構築主義 さまざまな社会規範を生み出す構造を学ぶ テキスト併用	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：視聴する作品の概要を調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	社会学的な分析 社会分業とはなにか なぜ分業するのか ディルケムの観察をテキストを利用して学ぶ	作品視聴 ディスカッション テキストのキーセンテンスを出す	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：視聴する作品の概要を調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	社会学的な分析（2） 分業と専門知	作品視聴 ディスカッション テキストのキーワード抽出	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：作品に描かれる問題について調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	ジェンダー ジェンダー概念の特徴と、ジェンダー規範が生み出す問題について学ぶ	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：ジェンダー概念について調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	少子化 ロマンティック・ラブ・イデオロギーと家族の減少@日本	講義 ディスカッション テキストの解説	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：「ロマンティック・ラブ・イデオロギー」について調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	分業とステイクホルダーについての調査	調査設計書を出し調査をする	調査を実施してまとめる	予習：ステイクホルダーとはなにか 復習：授業で学んだステイクホルダーを応用しまくる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	関係性と暴力 DVやハラスマントの特徴とそれを生み出す構造、問題を学ぶ	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：DVやハラスマントについて調べる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12	社会学的な分析（3） 陰謀論はなぜいつの時代も出現するのか	作品視聴 ディスカッション テキストの陰謀論についての説を読む	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる テキストからキーワードを抜く	予習：次の質的調査について対象者を決めていく 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	社会学的な分析（4） 職業を生み出す集団と時代変遷	テキスト以外の集団分析をみる ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：質的調査の準備をする 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる	120	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	質的調査の実施 昨年の事例：40歳以上の人への職業ヒストリー調査	半構造質問票を用意し、実際に対象者に調査する	調査を実施し、まとめる	予習：社会にある集団のもつ働く人々の分業構造の変化 復習：授業を通して学んだ集団の中で働くことはどういうことか調べる	120	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	社会を生き抜く／コンクルージョン 社会学的の視点から、「自分らしい」生活や文化とはどのようなもののかを考察する	講義 ディスカッション	授業の内容（板書・口頭での説明）をノートにとる	予習：これまでの授業で学んだ知識をまとめる 復習：授業で学んだ内容を課題にまとめる		主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力